

1971年8月7日第3種郵便物許可(毎月6回)1の日・6の日発行
2000年4月6日発行 SSKA増刊通巻 号

SSKA

全国パーキンソン病
友の会会報

茨城県支部だより

第50号

平成12年

2000, 4, 6

郵便振替口座番号 00300-4-38042

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒315-0018 茨城県石岡市若松 1-7-5

TEL&FAX 0299-22-5580

メール: syosn@polar.ocn.ne.jp

支部結成15周年記念総会

- ☆日 時 平成12年4月16日(日) 午前9時30分受付開始
☆場 所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館 4階大研修
☆交 通 旧6号国道千波経由県総合福祉会館前下車 ☎029-244-4545

支部総会次第

1. 開会のことば/物故者に対し黙祷(10:30)
2. 支部長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 祝電・メッセージ披露
5. 議長選出
6. 議事
 - (1) 平成11年度活動報告-----P 2. 3
 - (2) 平成11年度収入支出決算報告-----P 4
 - (3) 平成11年度特別会計報告/会計監査報告-----P 4. 5
 - (4) 平成12年度一般会計予算(案)-----P 6
 - (5) 平成12年度活動方針(案)-----P 7
 - (6) 平成12年度支部役員選出(案)-----P 7
7. 新旧役員の紹介とあいさつ
8. 議長解任
9. 事務局からの連絡事項-----P 8
10. 閉会のことば(12:00)

休憩(昼食) 第2回アジア太平洋国際シンポジウムのビデオ放映

第2部(13:20)

記念医療講演

講 師 順天堂大学医学部脳神経内科教授 水野美邦 先生

演 題 「パーキンソン病の治療」13:30~14:40

質疑応答 14:40~15:00

平成11年度活動報告

はじめに

一昨年5月、難病患者の患者負担が導入されました。そして、今年、医療保険制度「抜本改革」と称して高齢者健保の創設や薬剤の参照価格制度の導入など、患者負担を増大させる制度改悪が次々と打ち出されています。

不況による福祉施策の後退、また、今年4月より介護保険がスタートしましたが内容に様々な問題があるので、今後に見直していただきたいものです。

難病患者・長期慢性疾患患者にとっては希望の光さえ奪う苛酷な状況です。

厚生省は医療保険制度の抜本改革に向け、新たな高齢者医療制度を創設する関連法案を、2002年の通常国会に提出する方針を決めました。厚生省の省内に高齢者医療改革推進本部を設置しました。現行の高齢者医療制度を見直し、年金制度改革関連法案で、将来の現役世代の保険料負担を軽減するため年金額の伸びを押さえ方針を打ち出しています。4月から導入された介護保険制度では、高齢者に原則として1割の利用者負担を求め、このため、新たな高齢者医療制度については、年金、介護との関連も重視し、総合的な社会保障制度改革と位置づける方針のようです。私たちを取り巻く状況が厳しい中、次のような活動をしてまいりました。

1. 茨城県支部第14回定期支部総会を県総合福祉会館4階大研修室で、筑波大学大学院医科学研究科社会医科系教授紙屋克子先生を迎え「ステキにケア・楽しくリハビリ」と題して、医療講演を行った。(11.4.11)
2. 茨城県難病団体連絡協議会第17回総会を県総合福祉会館4階大研修室で行い役員改選で清水支部長が難連会長に就任した。(11.5.9)
3. 県北・中央地区合同交流会を県総合福祉会館3階和室で行った。(11.9.18)
4. 第2回アジア太平洋国際シンポジウムが、千葉県舞浜・東京ベイホテルに於て開催され同じ会場で第23回全国総会を行った。(11.10.4-6)
5. 第14回患者・家族一泊交流会を大子町・福寿荘で行った。(11.11.6-7)
6. 全国患者・家族集会(JPC)霞が関プラザホールで開催した。(11.11.26)
7. がんばれ難病患者日本一周激励マラソンが7月25日北海道宗谷岬を出発して第10ステージの茨城県に8月29日笠間市仏の山峠に入り9月1日千葉県へ送り出しました。11月26日に厚生省前に到着し、11月27日の真夜中大洗港より北海道行のヘリーを見送った。(11.11.26-27)
8. 北原純(益田功)歌謡教室チャリティ発表会が守谷町キャッツ研修所で当支部の後援で開催され収益金の一部7万円贈呈された。(12.2.20)

平成11年度活動日誌

〔支部役員会〕	
11. 5. 23 (日)	
11. 7. 11 (日)	
11. 8. 17 (火)	
11. 9. 12 (日)	
11. 11. 21 (日)	
12. 2. 12 (土)	
12. 3. 19 (日)	

〔県難連役員会〕	
11. 6. 5 (土)	
11. 7. 10 (土)	
11. 8. 6 (土)	
11. 10. 24 (日)	
12. 2. 11 (祭)	
12. 4. 1 (土)	

〔全国役員会〕	
11. 7. 25 (日)	
11. 10. 11 (祭)	
12. 1. 16 (日)	
12. 1. 30 (日)	
12. 3. 26 (日)	

〔各種会報発送〕	
11. 4. 11	支部会報47号
11. 5. 10	支部会報48号
11. 6. 16	全国会報72号
11. 7. 14	難連会報41号
11. 9. 30	全国会報73号
11. 12. 6	支部会報49号
12. 3. 1	全国会報74号
12. 3. 3	第2回総会小冊子
12. 3. 9	難連会報42号
支部会報47号は総会議案書	

〔会員宅訪問〕	
11. 5. 27(木)	友部町内
12. 1. 9(日)	ひたちなか市内

〔保健所主催医療等会議〕	
11. 10. 30(火)	ひたちなか保健所
12. 2. 3(水)	土浦保健所
12. 2. 19(火)	竜ヶ崎保健所
12. 3. 8(水)	大宮保健所

〔がんばれ難病患者日本一周激励マラソン〕	
11. 5. 19(水)	事務打合せ
11. 6. 10(木)	報道依頼 各新聞社
11. 6. 15(火)	支部実行委員会
11. 6. 18(金)	報道依頼・募金要請
11. 6. 23(水)	協力依頼 東京医科大霞ヶ浦病院
11. 6. 24(木)	募金要請 水戸市内各関係機関
11. 7. 12(月)	マラソンコース下見(河内町)
11. 7. 16(金)	ポスター掲示・作走者要請
11. 7. 21(水)	募金要請
11. 7. 23(金)	作走者要請
11. 8. 3(火)	笠間ボランティア運営会議出席
11. 8. 9(月)	グッズ届け 各役所
11. 8. 17(火)	事務打合せ・私の山現場下見
11. 8. 26(木)	事務打合せ
11. 8. 29(日)	笠間新迎式典
11. 8. 30(月)	茨城県庁前集會
11. 8. 31(火)	コース作走車(水戸市-牛久市)
11. 9. 1(水)	・ (牛久市-河内町)

〔県委託難病電話相談〕	
11. 4. 5(火)	11. 10. 7(火)
11. 4. 9(金)	11. 10. 12(火)
11. 4. 13(火)	11. 10. 21(木)
11. 4. 20(火)	11. 10. 26(火)
11. 5. 11(火)	11. 11. 9(火)
11. 5. 18(火)	11. 11. 18(木)
11. 6. 1(火)	11. 11. 30(火)
11. 6. 7(月)	11. 12. 14(火)
11. 6. 8(火)	11. 12. 21(火)
11. 6. 15(火)	11. 12. 29(火)
11. 6. 17(木)	12. 1. 4(火)
11. 6. 22(火)	12. 1. 14(金)
11. 7. 6(火)	12. 1. 18(火)
11. 7. 13(火)	12. 1. 25(火)
11. 7. 25(火)	12. 2. 1(火)
11. 8. 5(火)	12. 2. 8(火)
11. 8. 10(火)	12. 2. 15(火)
11. 8. 23(月)	12. 2. 22(火)
11. 9. 14(火)	12. 2. 29(火)
11. 9. 17(金)	12. 3. 7(火)
11. 9. 21(火)	12. 3. 14(火)
11. 9. 28(火)	12. 3. 21(火)
11. 10. 3(金)	12. 3. 24(金)

〔JPCの行動〕	
11. 4. 17. 18	第20回幹事会
11. 4. 19(月)	国会請願
11. 5. 30(日)	第14回総会
11. 5. 31(月)	国会請願
11. 10. 23. 24	第21回幹事会
11. 11. 27. 28	全国患者・家族集會

〔総会メッセージ送付〕	
11. 4. 9(金)	北海道・神奈川県・福岡県支部
11. 4. 14(水)	京都府支部
11. 4. 26(月)	鹿児島県支部
11. 5. 10(月)	新潟県支部

〔その他の行動〕	
11. 5. 17(木)	難病見舞金制度請願書提出 友部町

11. 5. 10(木)	茨難連会長就任挨拶 県保健予防課他
11. 7. 28(水)	難病見舞金請願書提出 常陸大田市市長室
11. 8. 5(木)	元支部役員佃国夫様告別式 ひたちなか市内
11. 12. 6(月)	北原純カラオケ発表会後援依頼 朝日新聞他

祝電・メッセージの紹介 (順不同)

メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部
総会の開催をお祝い申し上げます。

会員一同一致団結して病気に打ち勝つ
て療養をおつづけて下さい。

難病に対し、重症度基準によって患者
負担の総額をはねかいし、会員のQOL
の向上に全力投球して下さい。

宮崎県支部から連帯のメッセージを送
ります。

貴支部の益々の発展を祈念いたします。

—— 宮崎県支部長 原田 恒夫 様

メッセージ

結成15周年記念総会のご案内を頂き、
大変有難く感謝にたえません。出席して

貴支部の充実した友の会の運営の妙は
実に要を得たものでした。

昨年10月千葉県舞浜で開かれた、第2
回国際シンポジウムに出席して、再開が
出来て、大変うれしく喜んでおります。

支部長としての重責を果たして下さい。
お互いに頑張ってください。

—— 北海道支部長 山根 義淵 様

電子郵便

第15周年記念総会おめでとうございます
す。本文略。

私達が安心して生活出来る社会が出来
る迄、皆で手を携えて頑張ろうではあり
ませんが。貴支部の今後のご活躍とご発
展をご祈念致します。

—— 栃木県支部長 田中 洋一 様

メッセージ

桜の花もほころび初め、春の彼岸もす
ぎ、ポカポカ陽気になってまいりました。

会員の皆様いかがでしょうか、4月16
日を吉日と定め総会をとりおこなわれる
こと、たとえ住む所は違っても、同
じ病いを背負っている同志として、心よ
りお祝い申し上げます。

今年もお互い手をとり合って生きて行
こうと思います。

少しでも早く完治する薬の出来る事を
念じて、貴支部のご発展をお祈り申し上
げます。

—— 鹿児島県支部長 満尾 泰蔵 様

祝辞

茨城県支部結成15周年記念総会の開催
を、心よりお祝い申し上げます。

歴史ある貴支部の日頃の会活動に対し、
深く敬意を表しますとともに、今後益々
のご発展と会員及び家族の皆様のご健康
を、遥かお祈り申し上げます。

尚、厳しい情勢の中、医療の充実と福
祉の増進のため、共に手を携えて頑張ら
しましょう。

—— 京都府支部長 有馬 光枝 様

メッセージ

昨年は「頑張れ難病患者日本一周激励
マラソン」と「第2回アジア太平洋パー
キンソン病協会国際シンポジウム」への
取り組みで、友の会各支部は精一杯頑張
りました。

こうした取り組みで「友の会」の存在

を多くの人々に認識していただいたと思います。「年金法改革」「高齢者医療改革」など高齢者には高負担、若い人には低給付で、政府は財政再建を図ろうとしています。

介護保険がスタートしました。65歳以上の人は半年間の保険料免除するといっていますが、それ以降は支払いはじまります。難病患者や障害者などは、無料か安い費用で福祉サービスを受けられたものが、確実に5割以上の新たな出費を強いられます。

パーキンソン病患者が安心して療養できるよう、手を取り合ってがんばりましょう。

茨城県支部の益々のご発展を祈念致します。尚、6月には新潟で「友の会全国総会・大会」が開かれます。多数のお出をお待ちしております。

——— 新潟県支部長 齊藤 博 様

お祝い電報

全国パーキンソン病友の会茨城県支部総会をお祝い申し上げます。

——— 山梨県支部長 川手 薫 様

メッセージ

茨城県支部結成15周年記念総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

私たち難病患者を取り巻く環境はなかなか厳しい状況下にあります。しかし、新薬の開発、外科的手術の向上とか明るい兆しが見えています。「総合的難病対策の早期確立」を要望し、JPCの皆さんと共に運動を進めて行こうではありませんか。

貴記念総会の成功を祈り、そして会員

の皆さんのご健勝と貴支部の益々のご発展されますよう祈念致します。

——— 愛媛県支部長 林 芳明 様

お祝い電報

結成15周年、誠におめでとうございます。いろいろなことがあった15年だったと思います。

これからも会員同士仲良く、相互の親睦をはかり、茨城県支部のますますのご発展を祈念いたします。また、本日ご参集の方々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

——— 秋田県支部長 小森 浩 様

お祝い電報

記念式典のご盛會を、心からお喜び申しあげます。出席できず誠に残念です。

皆様方々の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

——— 長野県支部長 中沢 道博 様

電子郵便

役員さんたちの熱心な頑張りで、茨城県支部も立派になり、おめでとうございます。

——— 広島県支部長 山脇 和子 様

メッセージ

15周年記念総会のご盛會おめでとうございます。

一言、連帯のご挨拶を申しあげます。

私ども和歌山県支部は、4月2日に第3回総会を開きました。当初は53人の患者だったのが現在120人となりました。

これらは、御支部をはじめとして先輩の各支部のご助言のおかげです。

一口に15周年と言えば簡単に聞こえますが、その道程には色々な困難があった事と思えますが、それらを乗り越えてこられたことに敬意を表します。

現在の状況は極めて厳しく、難病患者にとっては経済的にも社会的にも苦しい状態が続きます。年金の改悪、保険あって介護なしと言われている介護保険制度がスタートしました。これらをより良い国民の物はするためにみんなで手をつないで頑張りましょう。

——和歌山県支部長 惣坊 恵 様

ご挨拶

この度の貴支部結成15周年記念総会に折角お招きを頂きながら都合で出席出来ず誠に申し訳ございません。

清水支部長のもと茨城県支部の皆様には一致団結してパーキンソン病の克服に堅実な歩みを続けられ、2000年の区切りに15周年を迎えられましたこと誠にめでたく全国友の会を代表しまして心からお祝い申し上げます。

ジェームスパーキンソン先生を偲ぶ第4回国際シンポジウムが日本で開催されましたが、このところのマスコミの報道によりますと、バイオテクノロジーの急速な発展によりパーキンソン病を始めとしてその他の神経難病の根治療法の開発も夢ではない様に思われ、今まで努力が報われる期待感がひしひしと迫って参ります。もう少しです、後5年の至10年後に根治療法が成功するという先生もおられます。

その時は友の会が目出度く発展的解散に至ると信じ、それまでお互いに協力して頑張りようではありませんか。

15周年記念に当たり欠席をお詫び致しご挨拶申し上げます。

—— 全国友の会会長 馬場 富雄 様

第15回記念総会を祝して

茨城県支部の皆さん、いつもお世話になり誠に有難うございます。花も咲き春が来たよえな気がいたします。

さて、このたび貴支部におかれましては、支部結成以来15周年を迎え、ここに記念総会を開催されました事誠に喜ばしい次第と言うねばなりません。早速出席してお祝いを申し上げるべきところですが取り合えずお祝いのメッセージで欠席のお詫びとさせていただきます。

折角、ご招待を頂きながら出席出来ず心苦しく思っております。

新薬も出来、手術の方法が進歩して、1日も早くこの病気がなくなる様、我々の努力が実る時が早く来る事を待ち望んでおります。

総会がスムーズに運び、皆様の療養生活が少しでも向上し、真の原因が解明される様祈念して、お祝いの言葉といたします。

—— 埼玉県支部長 森田 浩 様

メッセージ

茨城県支部結成15周年おめでとうございます。

紙面の都合で本文略させていただきます。今後も、ますます充実した友の会活動を展開されます様に会員の皆様の体調が安定していきます様に、心からお祈り致します。

—— 大阪府支部長 近藤 晶一 様

支部結成15周年記念総会の総括

水戸市の県総合福祉会館で支部結成15周年記念総会が開催された。第二部の医療講演に、順天堂大学医学部脳神経内科助教授森秀生先生による「パーキンソン病の治療」と題して講演を拜聴することが出来ました。尚、受付で新会員として10名が入会しました。

- 日 時 平成12年4月16日(日) 午前10時30分～午後3時30分
- 場 所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館 4階大研修室
- 参加者 来賓1名 会員37名 家族27名 一般参加者29名
ボランティア3名 合計97名 委任状43名

今回は、NHKFM放送・朝日・毎日・読売・茨城新聞が医療講演の報道して下さいました。29名の一般参加者がありました。

議長に寺門正次氏を選出し、第1号議案から第5号議案まで承認されました。第6号議案の役員選出で益田功氏が辞めて、その他は全員再任で平成12年度の役員に承認されました。

新役員紹介

(敬称略)

支部長	◆※	清 水 昇 勝 (石岡市)	県中央地区担当
副支部長	◆	植 本 泰 久 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
事務局長	◆◎	清 水 晴 美 (石岡市)	県中央地区担当
事務局員	◎	綿 引 義 男 (笠間市)	"
"		寺 門 京 子 (那珂町)	県北地区担当
"	◎	植 本 純 代 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
会 計	◎	大 森 誠 (水戸市)	県中央地区担当
監 査	◇◎※	寺 門 正 次 (那珂町)	県北地区担当
"	◇◎	小佐畑 弘 (")	"

◆本部役員 ※県難連役員 ◎健全者 ◇事務局員兼務

〔ブロック活動に伴う世話人〕

日立保健所管内患者・家族会 世話人 君 島 政 雄 益 子 健 次
潮来 " " " 関 口 貞 夫

総会に参加しての感想文

大変お世話になります。

いつもお世話になりまして感謝致しております。仲間も少しずつ増えて、力強く思っています。

薬と仲良くしながら日々を送っています。本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

役員の方々、ボランティアでご尽力下さいました方々、今回の総会だけでなく色々な行事、会報などにつきましてもありがとうございます。

同じ病いの方々の集いに初めて参加させていただいて、良い刺激になったと思います。議事の進行も、患者への配慮がなされており、議事の進行もスムーズに進んでいたと思いますが、何分、高齢の事もあり、昼食をはさんで一日仕事と言うのは無理があります。

誠に勝手な言う分で申し訳ありませんが、次回からは、講演のみの参加とさせていただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

私は、何んの奉仕もしておりません（地域社会に対して）別に社会に迷惑にかけておりませんが、役員の方々の奉仕精神には、ただ、頭が下るばかりです。意見等、別になく感謝あるのみです。

日々の活動についてのご尽力に感謝しております。

信頼関係で結ばれた会ですから、もっと簡素化されてもよろしいと思っております。

総べて明確で良く実施されている。本年度の計画もすばらしく良い計画です。

始めて参加しましたが、総会も大変スムーズに行って役員の方も大変と思いました。

どうぞ宜しくお願い致します。

平成12年度活動方針



1. マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所を通じ未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
2. 地区別（ブロック）活動の推進をはかります。
3. 患者・家族交流会（一泊・日帰りも可）を行います。
4. 必要に応じて患者宅を訪問致します。
5. 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
6. 支部会報（支部だより）を発行します。

会員の近状

何かとお世話頂き有り難う御座います
2月7日より肺炎・気管支炎で入院、点
滴のみ薬も鼻から管で入れている状態
です。薬はシンメトレル1錠、ネオドパ
ストン8錠、ペルマックス3錠、幻覚が
ひどく可哀相です、来週胃ろうを作り、胃
に直滴流物を入れるそうです。

————— 水戸市・♂

今年は風邪には苦しみませんでした、
歩く時に転倒しやすいのが一番悩みです。

————— ひたちなか市・♀

病気は着々に進行中です。

————— 日立市・♂

大分病気が進んでこの頃は転んでばか
りいます。不随運動が強く出ています。

————— 日立市・♀

介護が必要なため出席出来ません。

————— 土浦市・♀

時々手足のふるえなどありますが大方
は元気です。退職してからは、ストレス
がなくなった分快調です、年金生活のや
るくりが大変ですが、薬の分量・種類こ
の2～3年同じです。

————— つくば市・♀

病状が大部進行しています。同じ姿勢
を長時間維持することが困難になってい
ます。一人歩きも転びながらの毎日です

————— 笠間市・♀

最近では幻覚症状がひどくほとんど寝た
きりの生活です。

————— 笠間市・♂

薬が切れると一歩も歩けなくなります

————— 牛久市・♀

最近は大分病状かぜ進み介護が必要と
なり、一人で殆んど動く事が出来ません。

————— 牛久市・♀

発病以来7年目になり除々に進行して
歩行障害があります。

————— 高萩市・♂

会報等の情報有り難う御座います。S
SKP36号の小原先生の講演内容には力
づけられました。というのは、私は東京
女子医大の神経内科にかかっていますが
小原先生の講演内容とほぼ同様です、薬
もマドパー、ペルマックス、シンメトレ
ル、それに昨年10月よりEPを追加、本
年2月ごろより、その効果が現れ現在は
1日5時間程度の仕事に付けるまでになっ
ています。

————— 取手市・♂

最近では足のふるえ、姿勢障害が出てい
ます。

————— 藤代町・♀

障害厚生年金現在申請中です。再就職
が決まり4月10日より新会社に出社しま
す。

————— 三和町・♂

がんばれ難病患者日本一周激励マラソン (郵便振替扱い)

募金協力者 (敬称略)

NO	住所	氏名	NO	住所	氏名	NO	住所	氏名
1	那珂町	寺門京子	10	高萩市	會澤元	19	土浦市	飯田すみ子
2	結城市	吉田政治	11	日立市	益子健次	20	石岡市	清水昇勝
3	関城町	山口公彦	12	水戸市	小林洋子	21	玉里村	古渡幸長
4	笠間市	桜井政憲	13	水戸市	大橋清子	22	牛久市	池田弥生
5	ひたちねこ	西野晴子	14	取手市	河村よしみ	23	笠間市	福井英美
6	牛久市	井坂泰子	15	日立市	鈴木輝子	24	〃	鶴田静子
7	東海村	荷見のぶ	16	高萩市	沼田栄美子	25	三和町	高橋清
8	水戸市	大津茂雄	17	牛久市	色川きく	26	笠間市	綿引義男
9	ひたちねこ	渡辺徳治	18	山方町	中嶋雅子	27	千畑町	木村靖子

◇ 上記の27名の方々より¥92,000円の募金がありました。茨難連からJPCへ送金致しました。ご協力を感謝申し上げます。

一般会計へ寄付を下さったの方々 (99.4.1-00.3.31)

日立市 砂川一郎様	茨城新聞文化福祉事業団	大子町 笠井ふちえ様
取手市 渡辺富貴子様	水戸市 木村一郎様	水戸市 大森 誠様
大洗町 木村とみ江様	水戸市 宮部知克様	守谷町 益田 功様
石岡市 清水昇勝	里美村 佐川ゆわ様	水戸市 大橋清子様
ひたちねこ 故 佃国男様		

◇ 上記13件の合計 187,430円の寄付を頂きました。支部の運営資金として大切に使用させていただきます。

2000 総合的難病対策の早期確立を要望する請願書

署名・募金協力者（敬称略）

番号	月 日	住 所	氏 名	番号	月 日	住 所	氏 名
1	10. 7	取手市	四ッ谷 実	21	10. 25	水戸市	大橋 清子
2	"	麻生町	小倉 幸	22	10. 26	荻崎町	木村 安
3	10. 8	友部町	櫻井 信一	23	11. 6	水戸市	大森 信枝
4	"	水戸市	大津 茂雄	24	11. 11	日立市	永井 絹子
5	"	那珂町	小佐畑 はつひ	25	11. 12	守谷町	益田 功
6	10. 11	東海村	荷見 のぶ	26	11. 22	山方町	中嶋 雅子
7	"	石下町	安田 まさ	27	11. 30	ひたちなか市	山村 不二乃
8	"	土浦市	飯田 かみ子	28	12. 1	古河市	阿部 由美子
9	"	玉里村	上田 てい	29	12. 6	旭村	安達 明雄
10	10. 13	日立市	君島 照子	30	12. 9	笠間市	桜井 政憲
11	"	"	長山 きくゑ	31	12. 13	水戸市	塩原 幸子
12	10. 14	水戸市	成田 弘市	32	12. 17	高萩市	會澤 元
13	"	石岡市	藤崎 庄次	33	12. 18	笠間市	川邊 とみ江
14	10. 16	那珂町	寺門 京子	34	12. 28	牛久市	色川 きく
15	"	ひたちなか市	久保 悦郎	35	"	石岡市	清水 昇勝
16	"	岩間町	島田 貴美子	36	"	"	清水 晴美
17	10. 18	藤代町	河瀬 房子	37	1. 16	龍崎市	植本 泰久
18	10. 19	"	河村 よしみ	38	"	結城市	吉田 政治
19	"	取手市	藤原 純雄	39	2. 18	笠間市	綿引 義男
20	10. 25	水戸市	畝 一郎	40			

◇ この署名簿は2000年6月5日にJPCの仲間と一緒に国会請願を予定しております。

署名総数 598名

募金額 145,458円

【募金配分方法】

募金総額	必要経費	支部還元	取組団体	JPC
100%	切手・集経費	50%	20%	30%
145,458	56,600	44,429	17,772	26,657

皆様のご協力誠にありがとうございました。

支部長 清水 昇勝

パーキンソン病の原因と治療 最近の進歩

順天堂大学医学部脳神経内科教授 水野 美邦 先生

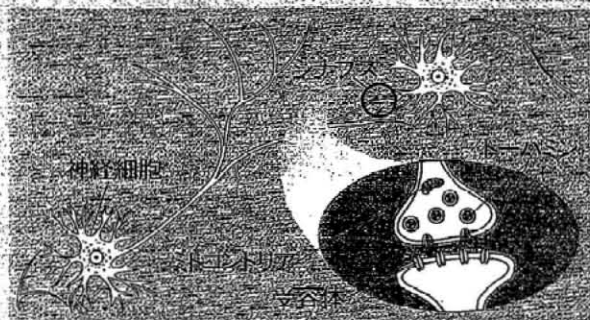
図1 黒質とドーパミン

●黒質は、中脳に左右1つずつあり、
大脳から送られてきた随意運動の
信号を、スムーズに送れるように、下
から支える役割を果たしています。
この黒質は神経細胞が集まって
いて、そこで「ドーパミン」という神経
伝達物質がつくられています。

淡蒼球内節

黒質

大脳基底核模式図



●「ドーパミン」は、黒質からの指令をスムーズに伝
える大切な物質ですが、黒質の神経細胞が変性
すると、ドーパミンをつくり出すことができず、ドーパミンは
極端に低下してしまいます。

パーキンソン病による運動障害は、主にこのドー
パミンの低下によってもたらされると考えられています。

パーキンソン病発症のメカニズム

— まず最初に、パーキンソン病は、脳
のどこの部分が原因で起きるのか、簡単
にご説明ください。

水野 — はい。すでにご存じの方も多
いと思いますが、パーキンソン病は、中
脳の「黒質」と呼ばれる部分の神経細胞
が変性（萎縮）することで、「ドーパミン」
という脳の指令を伝える物質が徐々に減
少し発症すると考えられます。（図1参
照）

また、この黒質の異常に加え、パー
キンソン病の特徴的な症状である（動
作がのろく、ゆっくりになること）「
動作緩慢」や（体のバランスが悪くな
ること）「姿勢反射障害」については、
別の機構があることも、だんだん分かっ
てきました。

— 別の機構と聞いていますと？

水野 — 一言で言いますと「淡蒼球内
節」という場所にある神経細胞が興奮
して、働きが過剰になることです。

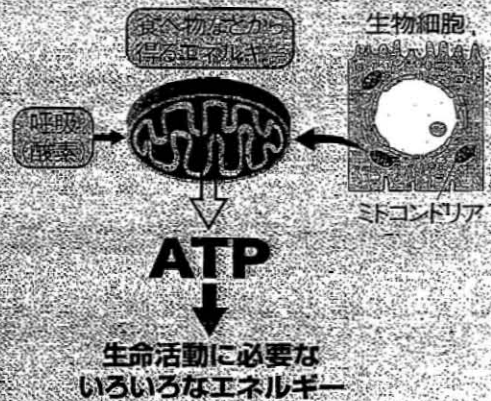
ミトコンドリアについて

細胞の中には、様々な小器官がありますが、ミトコンドリアは、その中でも、生命活動に必要なエネルギーをつくる大切な器官です。

ミトコンドリアは、長さ0.05ミリの楕円形をしていて、どんな細胞の中にも存在し、呼吸をしています。この呼吸によって「ATP」という物質を合成します。

この「ATP」は、いわば、「生命のエネルギーの源」のような物質で、これがないと、どんな細胞も衰えて、生命を維持することができなくなります。

ミトコンドリアは、この大切なATPを生み出す「生産工場」なのです。



この「淡蒼球内節」を車に例えますと（ブレーキ）の役割を果たしているということが出来ます。パーキンソン病の患者さんは、ここの働きが過剰になることで、体の動きにブレーキがかかり、それで、歩行や運動がスムーズに行なえなくなってしまうのです。

—— このような異常が、なぜ起きるのでしょうか？

水野 — この点については、まだすべて解明できておりません。しかし、黒質でどんな異常が起きているか、という点については、ずいぶん分かるようになりました。

—— この辺を、もう少し詳しく教えてくださいませんか？

水野 — 少し専門的な話になりますが、よろしいでしょうか。

患者さんの黒質に異常をもたらす原因として、今、最も注目を集めている現象には、次の二つがあります。

まず一つは、黒質の「ミトコンドリア（上の囲み欄参照）」という小器官に機

能障害があるらしい、ということ。

もう一つは、その同じ場所で「活性酸素」という毒性の強い酸素の産生が増え（スーパーオキシドアニオンや過酸化水素、ヒドロキシラジカル、一重項酸素など、毒生の強い活性酸素が増えている状態）酸化ストレスが発生していることです。

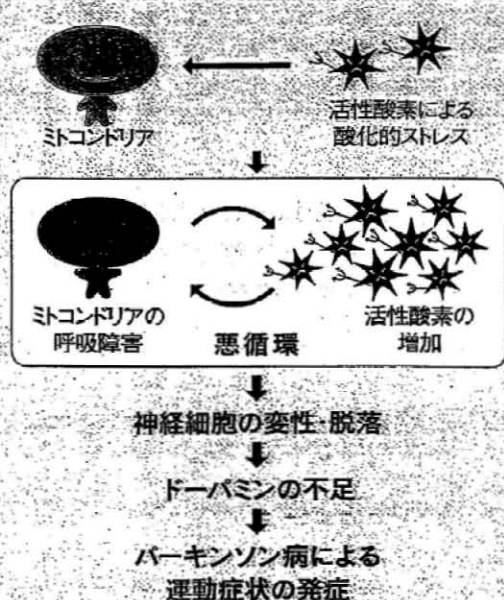
—— 「活性酸素」とは、何ですか？

水野 — 「活性酸素」は、私たちが呼吸している普通の酸素と似ていますが、構造がちょっと違って、普通の酸素に「電子」が少し余計に追加されているものです。このような構造になると、不安定な上に毒性が強くなって、容易に他の物質を傷つける性格を持ちます。

このやっかいな「活性酸素」が、患者さんの黒質の神経細胞の中で増えて悪さをしていることが、いろいろな研究から、明らかになってきたのです。

—— この場合、「活性酸素」はどんな悪さをするのでしょうか？

図2 黒質の神経細胞内で発生している2つの異常(推定)



水野 — 患者さんの黒質内で「活性酸素」ができますと、神経細胞にあるミトコンドリアが傷ついて、呼吸障害を起こします。すると、その影響で、活性酸素がさらに増えて、次々にミトコンドリアの呼吸障害していく。この悪循環が、慢性的に繰り返されることで、黒質の神経細胞の部品が少しずつ壊され、やがて消失して、ドーパミンが不足し、パーキンソン病の症状が現われる、というわけなんです。(図2参照)

——しかし、なぜこれらの異常が、パーキンソン病の患者さんに起こるのでしょうか？

水野 — その点については今だにナゾなのですが、今注目されている仮説としては二つあります。一つは、何らかの遺伝

的な体質が関与しているのではないかという考え方。もう一つは、特に黒質だけに集積する神経毒があるのではないかと、いふ考え方です。もちろん、これらの両方が相互にかかわりあうことも、十分あるでしょう。

このような仮説を検証するべく、現在は、遺伝的な体質を調べる「遺伝子研究」や、神経毒をさがし当てる「分子レベルの研究」が、非常に活発になってきています。

パーキンソン遺伝子発見で見えてきたもの

——ここで、遺伝子レベルの研究について伺います。

水野 — この研究は、私たちのグループと慶応大学の分子生物教室の清水教授との共同研究で行った仕事です。今回の発見は、これより少し前に「家族性パーキンソン病」の原因遺伝子が、6番目の染色体にあるということが発見したことが契機となっています。

パーキンソン病のごく一部は、家族性で若年発症することが分かっています。この中には「優性遺伝」のタイプと「劣性遺伝」のタイプがありますが、日本では、兄弟や姉妹に発病する劣性遺伝のタイプが多く、これらの患者さんは、二十歳代に発症のピークがあり、L-DOPAの反応はきわめて良い反面、症状の日内変動を起こしやすい、という特徴を持っています。

そこで、今回も同じ6番目の染色体に絞って、ある若年性パーキンソン病患者さんの遺伝子の一部に、欠落しているところがあることを発見したの

です。それで、もしかしたら、この遺伝子がないことが、発症原因ではないか、と予測して、さらに解析を続けたところまさにその通りで、調べた5人の患者さんは、全員、この遺伝子が、脳の黒質で特殊なタンパクを合成している、ということも分かったのです。

そこで私どもは、その欠けた遺伝子を「パーキン」、またこの遺伝子がつくる特殊なタンパク質を「パーキンタンパク」と名付けたのが、発表までの経緯です。

—— 大変な発見をされたわけですが、この「パーキン」遺伝子がないと、どんな影響が現われるのでしょうか？

水野 — 「パーキン」遺伝子がないと、「パーキンタンパク」をつくることはできません。言い換えれば、パーキンタンパクの異常が、劣性遺伝性の若年性パーキンソン病の発症に深く関わっているというわけです。

—— 今回の発見は、一般のパーキンソン病についても、原因解明の有力な手掛かりになるのでしょうか？

水野 — ええ、その可能性は十分あると思います。というのは、パーキンソン病の根本的な原因が、かなり絞り込まれたと考えられるからです、考え方は、こうです。

孤発性の方の場合は「パーキン」は正常で、パーキンタンパクもちゃんとつくられていることが確認されています。となれば、パーキンタンパクが関わっているいずれか他の部分で、なんらかの異常が起こっている公算が高い。電車の事故

に例えてご説明しましょう。

もしJRの山手線で電車が止まった場合、東京駅で事故が起きてても電車は止まりますが、その次の神田駅で事故が起きて、やはり電車はストップしますね。これと同じように、仮にパーキンタンパクをつくる所が東京駅とすると、孤発性の方の場合は、東京駅以外の山手線内のどこかで、何らかの事故が発生している、と考えられるわけです。

—— 「パーキン」の発見で、どういうラインを攻めればいいかが、かなり見えてきたわけですね。

水野 — 「パーキンタンパク」がないと、黒質が選択的に変性する、そこには、必ず何らかの理由があるはずですよ。

この理由は、分子レベルの研究によって、多分ここ1、2年の間に明らかになると思います。

治療の進歩と今後の課題

—— 次に、病因解明が進むと、治療面でどの様な進展が見込まれるか、お話し下さい

水野 — そうですね、薬物治療に関して言いますと、今はどの製薬メーカーも、黒質の神経細胞を保護する薬の開発に、全力を注いでいると思います。

具体的には、先の「ミトコンドリアの呼吸障害」を回復させる薬とか、脳の黒質に入って「活性酸素」の毒性を和らげるような。「抗酸化薬」の開発などが挙げられるでしょう。

また、今回、パーキンソン病の研究が進めば、このタンパクの機能を修復するような根治的治療も、視野に入ってくると思います。

それから若年性の方については、正常のパーキンソン遺伝を導入する「遺伝子治療」も、将来的には開発される可能性が高いのではなすでしょうか。

——— 先の「抗酸化薬」について少し伺いたいのですが、食品の中にも、抗酸化作用のあるものがありますね。それらの効果は、期待できますか？

水野 — 確かに、ある種の食品やビタミン剤などには、活性酸素の毒性を抑える抗酸化作用がありますが、治療効果に結びつくかどうかというのは別の話で、この場合は、まず効果はないと思います。

なぜなら、食べ物の場合、その効果が直接脳に作用することは、極めて困難だからです。そのうえ、この場合は、活性酸素が生成されている黒質部分に、うまく到着しなければ意味がありません。このような難しい条件を満たす食品やビタミン剤は、まだ確認されていないのが現状です。

しかし、将来的にはこれらの条件をクリアした、優れた「抗酸化薬」が開発される可能性は大いにあると思います。そうすれば、黒質の変性プロセスをストップさせることで、パーキンソン病の進行を食い止められるかもしれません。

服薬の工夫とアドバイス

——— ではこの辺で、水野先生から服薬のアドバイスをいただきたいと思いのす。

水野 — 服薬について申し上げますと、私は、患者さんが、ご自分の症状に合わせて、薬の飲み方を工夫されて構わないと思っています。例えば、朝、起きた時に体の動きが悪いか、午後調子が悪くなる、というような傾向があれば、L-ドーパの薬効が現われるタイミングを見計らって、服用時間を変えられても、特に問題はないでしょう。ただ、この場合は、一日の総量は、あまり超えない方がよいと思います。

それから、食後に服用すると、薬の効きが悪くなる場合は、食前に変えて服薬されてもよろしいかと思ひます。

また、L-ドーパの効きがとて悪いような場合は、薄いレモン水のような酸性のお水で薬を飲まれるのも、一つの手だと思います。

——— 酸性のお水で服用すると、L-ドーパの効きが悪くなるのですか？

水野 — 酸性の水は、L-ドーパの吸収を高める作用がありますからね。

お水にレモンをちょっと絞る程度で十分ですから、どうしても薬が効かない方の場合は、お試しになつてはいかがでしょうか。

ただ、こういった工夫はL-ドーパ製剤を飲む時だけにされて、それ以外の薬については、主治医のおっしゃる通りに飲まれた方がよろしいでしょう。



—— 風邪薬など、他の一般薬を併用する事については、いかがでしょうか？

水野 — 吐き気を抑える「制吐薬」や風邪薬などは、特に問題はないと思いますが、胃腸薬は、むやみに服用なさらないでいただきたいと思います。胃腸薬は、胃酸を中和する働きがあるので、どうしてもLドーパの吸収が悪くなってしまいます。それでも胃腸薬を飲まなければならない場合は、できるだけ制酸作用のない、胃の粘膜を保護するタイプを選ぶようにしてください。いずれにしても、胃腸薬を容易に服用されるのは、控えられた方がよいと思います。

その他、薬につ居て気になる点がありましたら、やはりきちんと主治医の先生に相談されて、お使いなることをお勧めします。

—— それでは最後に、先生から患者さんに、メッセージをお願いします。

水野 — パーキンソン病の場合は、特にやっていけないことはありません。ですから、ご自分で制限を加えず、仕事や旅行、趣味などを、どんどん積極的にやっていただく方がよろしいと思います。ただ、くれぐれも転倒には注意して下さい。転んで骨折などをしますと、寝たきりになってしまう心配があります。

また精神的な面について申し上げますと、パーキンソン病の患者さんは、どうしても悲観的になりがちです。しかし、パーキンソン病は、他の神経変性疾患に比べれば、とてもいい薬が開発されていますし、効き目のある薬の開発もすすんでいます。この病気で寿命が縮まるわ

けでもありませんから、あまり暗くならず、よい面を見て、前向きに生活していただきたいと思います。そのためには、同じ病気の仲間と情報を交換したり、励まし合うことも大切でせしうし、メリハリのある生活を心掛けることも必要でしょう。

いずれにしても、「自分の将来は自分で切り開く」といった気概を忘れず、希望を持ってび病気とうまく付き合っていたかくことを、心から願っております。

—— ありがとうございます。

「マックス」編集部のご厚意で転載しました。

「マックス」第10号（1998.10 発行）より転載。



平成12年度活動方針(案)

1. マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所を通じ未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
2. 地区別(ブロック)活動の推進をはかります。
3. 支部結成15周年記念患者・家族交流会を行います。
4. 必要に応じて患者宅を訪問致します。
5. 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
6. 支部会報(支部だより)を発行します。

平成12年度支部役員選出(案)

敬称略

支部長◆※	清水昇勝	(石岡市)	中央地区担当
副支部長◆	植本泰久	(竜ヶ崎市)	県南地区担当
事務局長◆◎	清水晴美	(石岡市)	中央地区担当
事務局員◎	綿引義男	(笠間市)	"
"	寺門京子	(那珂町)	県北地区担当
"◎	植本純代	(竜ヶ崎市)	県南地区担当
会計◎	大森誠	(水戸市)	中央地区担当
会計監査◇◎	小佐畑弘	(那珂町)	県北地区担当
"◇◎※	寺門正次	(")	"
凡例◆本部役員	※県難連役員	◎健常者	◇事務局員兼務

[ブロック活動に伴う世話人](案)

日立保健所管内患者・家族会	世話人	君島政雄
		益子健次
潮来保健所管内患者・家族会	世話人	関口貞夫

事務局からの連絡事項

□ 全国パーキンソン病友の会第24回全国大会

- ・日 時 平成12年6月23日(金)午後1時～午後4時
- ・場 所 新潟市上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ多目的ホール
- ・内 容 患者の体験報告・介護の体験報告
(医療講演)
- ・講 師 順天堂大学医学部脳神経内科教授 水野 美邦 先生
- ・演 題 「パーキンソン病治療の現在と未来」

□ 茨城県支部支部結成15周年記念交流会

- ・日 時 平成12年10月14日(土)～15日(日)予定
- ・場 所 鹿島郡旭村箕輪 3604 番地「いこいの村酒沼」
- ・内 容 詳しくは後日ご案内致します。

編 集 全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒315-0018 茨城県石岡市若松 1-7-5
TEL&FAX 0299-22-5580
メールアドレス syosan@polar.ocn.ne.jp
郵便振替口座番号 0300-4-38082

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073東京都世田谷区砧 6-26-21
TEL&FAX 03-3416-1698

頒価200円